

算数科 学習指導案

日時 2023/6/21

学級

授業者

1 単元名 「かけ算の筆算」

2 単元の目標

2, 3位数に1位数をかける乗法について、既習の乗法などをもとにして考え、筆算で計算することができる。

3 児童・生徒の実態

男 12名, 女 20名のクラスである。

○既習事項を生かして、課題を自分で解決しようとするができる。

●自分の考えに自信をもって発表する児童が少ない。

●根拠を明確にして、自分の考えを示すことができない児童もいる。

4 郡研究テーマとの関わり

研究の重点(1) - ①

「数学的な見方・考え方を働かせる数学的活動やその交流方法を明確にする。」

自分の考えを伝え合うスクランブル交流

ノートにまとめる際に、相手に伝えやすいように数字の意味を示したり、言葉を書き足したりするなどして、数学的な考え方の素地を養い、自分と違う意見を聞いて考えを広げつなげたり、同じ意見でも仲間の言葉で聞くことで考えを深めたりするためにスクランブル交流をする。

研究の重点(2) - ①

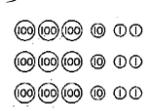
「3つの見届けるについて、どのように見届けるか教師の指導を具体化して改善する。」

全体交流でまとめた考え方と逆の見方が必要なえんぴつ問題1を全体でおさえることで、本時の学習内容の定着を見届ける。

5 本時の目標

3位数×1位数で部分積に繰り上がりのない場合の計算原理や方法、筆算の仕方を理解し、計算をすることができる。

6 本時の展開 (7/13)

学習過程	学習活動	留意点																								
つかむ	<p>1 問題を理解する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1 こ 312 円のコップを 3 こ 買います。代金は 何円 ですか。</div> <p>式: 312×3 ○前の学習と何が違うかな ・前は 2 けた×1 けただったけど、かけられる数が 2 けたから 3 けたに増えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・312 円の 3 つ分だから 312×3 になることに気付かせる。 ・$300 \times 3 = 900$ より高くなることに気付かせる。 																								
見通しをもつ	<p>2 課題をつくる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">課題: 3 けた×1 けたのかけ算の計算の仕方を考えよう。</div> <p>3 見通しをもつ ・2 けた×1 けたのときのように図を使ったり、分けて考えたり、筆算をしたら答えが求められそう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容である 2 けた×1 けたの計算を位ごとに分けて考えたことを想起させ、3 けた×1 けたの計算の見通しから課題化を図る。 ・問題を解く方法として、図、分けて計算する方法などがあることを確認する。 ・300 と 10 と 2 に分けて計算し、その和を求めていることに気付かせる。 ・考えをもてない子には、前時のノートを示しながら、「2 けた×1 けたの計算はどのように計算したかな」と問いかけることで、かけられる数が 3 けたのときも位を分けて計算すればよいことに気付かせる。 ・ノートをタブレット端末で撮影したものを黒板に表示して、すぐに考えの共有ができるようにする。 ・筆算を指し示して「3×3 はどういうことか」と問いかけ「312 の 300 に 3 をかけていること」に気付かせることで、312 を位ごとに分けて計算をしていく計算原理と筆算を関連づけさせる。 																								
考える	<p>4 考えをもつ</p> <p>①図 </p> <p>②分けて計算</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 40px;"> <div style="margin-right: 10px;">312×3</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">→ $300 \times 3 = 900$</div> <div style="margin-bottom: 5px;">→ $10 \times 3 = 30$</div> <div style="margin-bottom: 5px;">→ $2 \times 3 = 6$</div> </div> </div> <p>5 スクランブル交流</p> <p>6 全体で考えを交流する。 ①と②の考えで似ているところは何かな。 ・312 を百、十、一の位に分けたこと。 ・計算した後に、それぞれを合わせたこと。</p>																									
まとめる	<p>7 まとめ・ふり返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">3 けた×1 けたの計算は、百、十、一の位に分けて計算すれば、2 けた×1 けたの計算と同じように考えることができる。</div> <p>8 筆算の仕方をおさえる。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <table style="border-collapse: collapse; margin-right: 10px;"> <tr><td style="padding-right: 5px;">3</td><td style="padding-right: 5px;">1</td><td style="padding-right: 5px;">2</td><td style="padding-right: 5px;">①</td><td>$2 \times 3 = 6$</td><td>(一の位 $2 \times 3 = 6$)</td></tr> <tr><td style="padding-right: 5px;">×</td><td style="padding-right: 5px;">3</td><td style="padding-right: 5px;">②</td><td>$1 \times 3 = 3$</td><td>(十の位 $10 \times 3 = 30$)</td><td></td></tr> <tr><td style="padding-right: 5px;"></td><td style="padding-right: 5px;">9</td><td style="padding-right: 5px;">3</td><td style="padding-right: 5px;">6</td><td>③</td><td>$3 \times 3 = 9$</td></tr> <tr><td style="padding-right: 5px;"></td><td style="padding-right: 5px;"></td><td style="padding-right: 5px;"></td><td style="padding-right: 5px;"></td><td></td><td>(百の位 $300 \times 3 = 900$)</td></tr> </table> </div> <p>9 評価問題を解く ①P.87 えんぴつ 1 (全体で確認する) ②P.87 えんぴつ 2</p>	3	1	2	①	$2 \times 3 = 6$	(一の位 $2 \times 3 = 6$)	×	3	②	$1 \times 3 = 3$	(十の位 $10 \times 3 = 30$)			9	3	6	③	$3 \times 3 = 9$						(百の位 $300 \times 3 = 900$)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題に対しての解決の仕方、自分の学習の態度を振り返る。 ・まとめに困ったら、黒板にある言葉を使って書けばよいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価規準】 数の構成に着目し、3位数×1位数の計算の仕方を、既習の乗法を用いて考え、説明できる。【思判表】</p> </div>
3	1	2	①	$2 \times 3 = 6$	(一の位 $2 \times 3 = 6$)																					
×	3	②	$1 \times 3 = 3$	(十の位 $10 \times 3 = 30$)																						
	9	3	6	③	$3 \times 3 = 9$																					
					(百の位 $300 \times 3 = 900$)																					